

谷川連峰（たにがわれんぼう）の厳しい気候と険しい地形は多くの希少動植物を支えている。谷川連峰は、1949 年に設立された上信越高原国立公園（じょうしんえつこうげんこくりつこうえん）の一部であり、群馬（ぐんま）県、新潟（にいがた）県、長野（ながの）県にまたがる総面積 148,194 ヘクタールを占めている。2017 年には、みなかみ地域はユネスコエコパークに登録された。この一帯に広がる広大な森と多くの溪流はアウトドア活動に最適な場所であり、ハイカー、登山者、キャンパーの目的地としてよく知られている。

[ここに掲載されている情報は、2021 年現在の情報]

谷川岳インフォメーションセンター

谷川岳インフォメーションセンターは、この地域の自然環境の楽しく安全な利用と保護を促進することを目的に、2021 年に開設された。この地域の植物や動物、歴史を紹介した展示が見所となっているほか、天候や登山道の状況に関する最新の情報を入手することもできる。

谷川岳山岳資料館

谷川岳ロープウェイ土合口（どあいぐち）駅近くにある谷川岳山岳資料館には、古い登山道具や、この地域の動植物の写真のほか、ヒマラヤの登山資料が展示されている。

営業時間は 9:30～16:30、営業期間は 4 月末～11 月。（木曜休館）

電気バス

電気バス（定員各 8 名）が一ノ倉沢（いちのくらさわ）まで運行されている（一ノ倉沢へは車で行くことはできない）。乗車中は、ガイドが地域の歴史や自然について紹介してくれる。

谷川岳ハイキングコース

西黒尾根（にしぐろおね）に沿って谷川岳まで登るコースは所要時間が往復約 7 時間で、終日ハイキングを楽しむには最適なコースである。登りやすいように鎖が設けられているものの、一般的には、経験の豊富な人向けのコースである。これよりも簡単なコースを選ぶ場合は、谷川岳ロープウェイの土合口駅から天神平（てんじんだいら）駅までロープウェイに乗れば、天神尾根を経由して谷川岳まで約 3 時間で登ることができる。このルートを下る場合はさらに 2 時間かかる。また、もっとのんびり散策したい人向けに、天神平には距離の短い遊歩道が数多くあるほか、レストランも 1 軒あり、周囲の風景をじっくり楽しむことができる。天候が許せば、小さなスキリフトに乗って天神山と展望台に足を伸ばすことができる。

[注：安全上の理由から、展望台よりも上に登るすべての登山者にはロープウェイの入り口で簡単な登山届の記入をお願いしている。]